Ｎｏ．３８５（毎月１回発行）　ガット　２００９年３月１日発行

ガット

HCTC since 1973

東村山市民テニスクラブ協議会・機関紙

3月号

発行：
東村山市民
テニスクラブ協議会
会長　川 路 俊 一

http://www.higashimurayamatennis.com/
http://www.higashimurayamatennis.com/i.html

☆春の市民大会の概要が決まりました。

今回の最も注意しなくてはならない**変更点は、ドロー表に指定された集合時間に５分過ぎても受付登録の無いチームは即、棄権**とみなされて、相手が自動的に勝利となる点です。

なお、**大会の受付は 3 月 1 日、8 日いずれも日曜日、10 時～12 時、スポーツセンタークラブ室です。**

試合会場は運動公園コートで、**参加費はダブルス￥1,200 円**（2 名とも連盟加入者の場合）

試合日程と種目は次の通りです。

- ミックスダブルス　4 月 5 日(日)
- 男子ダブルスＢ．Ｃ　4 月 12 日(日)
- 女子ダブルスＢ、Ｃ　4 月 19 日(日)
- 男子ダブルスＡ　4 月 26 日(日)
- 男子ベテランダブルス　4 月 26 日(日)
- 女子ダブルスＡ　4 月 29 日(祝)

予備日　5 月 3,4,5 日

☆太田杯団体戦の日程が決まりました。

場所は運動公園で、日程は次の通りです。

- 男子　5 月 10 日(日)
- 女子　5 月 17 日(日)

予備日は 5 月 24 日(日)

監督会議は 5 月 2 日(土)

運営委員会　2/8/09 柳泉園　9:30～12:30

☆川路会長

総会で提起された今後運営委員会で早急に検討していかなくてはならない点は以下の５つだと認識している。

１．コート取りのための通信費の扱い
２．本井教室の存続
３．コート整備費の使い道
４．積立金の取り扱いについて
５．繰越金額の適正値

その他に、協議会会長としては、市民テの全体合宿をなんとか実現したいと考えている。

☆ナイター会員募集

各クラブ会長に 3 月 25 日までに申し込み、**3 月 31 日までに会費 5,000 円を本部会計**に振り込む事。

☆市民大会の開催中に代替として柳泉園コートを確保します。

抽選には各クラブ最低 3 名の参加が義務付けられていますので、皆さんの協力をお願いします。

期日　**3 月 3 日(火)**
時間　8:30～10:00　　場所　柳泉園

☆早朝テニスについて、これまではソフトとの調整を初代は岩切さん、二代目の現在は石原さんが個人的ベースで行っていたが、今後は運営委員会から正式に調整役を委嘱することになった。

☆2 月末に新しい名簿が郵送されますが、個人情報を含んでいるので、取り扱いには充分に注意して下さい。

☆小武海実行委員長の下で、柳杯の運営委員会が発足し、具体的な実行プランを策定することになりました。各クラブから２名の運営委員を選出いただき、３月末には運営委員会の第１回を開催することになりました。

☆中級スクール　3 月 20 日、10 時～12 時、久米川コートで開催。

☆各クラブの活動

- 萩山・諏訪は西高で合同練習会を行います。
  3/1(日) 9:00 西高集合。　午前中は練習を中心、午後は試合形式で行う予定。
- 栄　3/1 練習会　村高　13:00-17:00

３月のコート

中級スクール　3 月 20 日　久米川コートにて 10 時～12 時

テーマ:１～2 月の総括(ストローク･ボレー･スマッシュ･サーブ)

	1(日)	7(土)	8(日)	14(土)	15(日)	20(金)	21(土)	22(日)	28(土)	29(日)
7-9	A,B,C	A,B,C	A,B,C	A,B,C	A,B,C	A,B,C	A,B,C	A,B,C	D,E	A,B,C
8-9	1,2,3	–	1,3,5	–	1,2,3	1,2,3	–	1,2,3,5	–	1,2,3,5
9-11	1,2,3,5	1,2,3	2,5	1,2,5	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,5	1,2,3,5
11-13	1,2,3,5	1,2,3	,2,5	1,2,3,5	1,2,5	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,5	1,2,3,5
13-15	1,2,3	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5
15-17	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,5	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5

西高	合同練習会
3/1	萩山　諏訪

村高	a.m.	p.m.
3/1	–	栄

『ガット』関連のリクエスト・お問い合わせは　⇒　編集責任者　萩山クラブ　古村浩三 kkoldvillage@gmail.com まで

今年も１月から市民テによるスクールが開催されています。そこで小桧山技術部長にスクールの紹介をしていただきました。

毎週日曜日に開催されているスクールは３つのクラス分けとなっています。

- 初心者クラス・ジュニアクラス　8 時 30 分～10 時
- 初級クラス　10 時 10 分～11 時 40 分

初心者クラス（責任者　市原 順次郎コーチ）

主にテニスの入門編として、打ち方、動き方を中心に基本練習を徹底的に行います、スクールのはじめはジュニアクラスと一緒にストレッチと基礎体力強化のトレーニングを行い、十分身体があったまったところで、各コートに分かれてレッスン開始となります。
ここでは、ショットの種類、グリップ、フットワークなどにポイントをしぼり、一人ひとりのプレーをチェックしながらアドバイスを行っています。まず、テニスに必要な「おいつく」「あてる」「ふる」「つなげる」「ねらう」「きめる」これらのキーワードに「しっかり」をプラスし、テニスの楽しさを伝えていきたいと思っています。
このクラスの中でも、上達に応じてクラス替えも考えていきたいと思っています。
技術部員は初心者の方々が自信を持って久米川コートで活躍できるようにお手伝いいたします、見つけたら気軽に声をかけてください。

ジュニアクラス（責任者　小桧山 隆コーチ）

このクラスは、小学 4 年生から高校 1 年生までが一緒になってレッスンを受けています。実力はバラバラですが、他のスクールにはない「市民テならでは」があります。全員で大きな声で挨拶をしてレッスン開始です、スクールというよりは部活といったイメージかもしれません。
最近は、３０分前に来てネット張り、ボールの準備等を率先して行い、開始までの時間を自主練する子たちが増えてきました。上級生が下級生の面倒をみるというのも特徴で、コーチから言われる前に上級生が代わりにアドバイスする場面も多く見られます。
レッスン内容は週替わりで様々ですが、基本としては「あきらめない」「チャレンジ」をキーワードに元気いっぱいのプレーを心掛けています。その日のレッスン内容、注意すべきポイントなどは当番がノートに記録して楽しいながらも緊張感あるスクールです。

初級スクール（責任者　河野 好太郎コーチ）

このクラスは、初心者ではないがまだ試合などで自信がない方のために、ショットの精度や正確性などに重点をおいたレッスンが行われています。2 面を使用して行うため、たくさん球が打てる所がこのクラスの良いところです。
内容は、主にドリル練習が中心となっており、動きを交えた練習内容に加え、プレッシャーのかかる練習や、ゲーム形式や、対コーチ、対スクール生の打ち合いなどで、球出し以外の球を受けることもメニューに入れてあります。
試合に積極的に参加できるようになるまでを目的としているので、市民大会上位入賞者は卒業していただくことになります。皆さん積極的でとても真剣にレッスンを受けていますので試合にもチャレンジして、その上の中級スクールに参加できるようがんばりましょう！

スクールを受ける際の心構え

まず、体調万全で参加いただくことをお願いします。コーチも二日酔い状態でフラフラになっている時も多々ありますが、安全確保を第一に、途中で気分が悪くなった場合は決して無理をしないようお願いします。
この市民テスクールでは技術部員も一緒に勉強させていただき一緒に成長できればと思っています。上達の近道は、受け側にならず一緒にスクールを創り上げていくという意識をもって参加することです。基本を中心としたスクールなので、できなくて当然、わからなければ何度でも聞いて下さい。また、この場はミスってもヘタこいても全然 OK です。「失敗は成功の母」ということばの通り必ず華麗なるプレーが出来るようになります。コーチも見本を見せるときにすべて成功するとは限りません。ミスった時は愛情のこもったダメ出しをお願いします。
スクールで習ったことは、しばらくやらないと忘れてしまいがちですが、やればすぐに思い出すものです。継続は力なり！たのしくマイペースが継続の秘訣です。スクールの中で何か一つでも楽しさをみつけてそれを膨らませていきましょう。

２００９技術部ニューフェイス

今年も技術部に新しいメンバーが入りました、テニスの実力、経験、それ以上に、皆さんのお手伝いをすることへの「気持ち」にあふれている若者達（！？）です。

岩崎 弘さん（萩山）・・・日本テニス協会の公式審判資格を有し、気合いの入ったプレースタイルと豊富な経験、豊富な知識、頼れるアニキはコート出現率高し！

渡辺 章さん（青葉）・・・高い運動能力とネットプレーとカバーの速さが定評の青葉のエース、冬場は雪山にこもる習性あり。

杉本 豊さん（栄）・・・栄クラブのお祭り男、そのテンションと多彩なネタをスクールに持ち込んでアゲアゲなレッスンに期待だ！

松原 純夫さん（美住）・・・癒し系キャラですが、ストロークでの粘りはまさにマムシ！安心丁寧のまごころこもった球出しに期待！

小林 勇樹さん（美住）・・・気持もグリップもアツイ！ 暑苦しい！ パワフルな爆裂フォアハンドは必見の価値ありですぞ！

西村 拓治さん（諏訪）・・・超特急フォアに壊れたママチャリのようなバック、ワイルドなファーストにお上品なセカンドと、この男、ほんまえぇもんもってまっせ～！

岩崎さん

渡辺さん

杉本さん

松原さん

小林さん

西村さん

技術部新メンバーを代表して、諏訪クラブの西村拓治さんから「抱負」をいただきました。
皆さんと共に上達していきたいと思います。　がんばります!!!

****

「私とテニス」　　萩山クラブ　須田　成

須田さん一家　右端が奥様の真優美さん

今年から夫婦で市民テのお世話になる事になりました萩山クラブの須田です。お隣のＫ林さんに誘われて、運動公園の開放日の練習に参加して、市民テの持つ雰囲気に魅了され入会する事に決めました。
私がテニスをするようになったのは、十数年前のサンプラスが全盛の頃、アンドレ・アガシがライオン丸のような長髪を棚引かせていた頃でした。始めたといってもスクール等に通ったわけではなく、新座にあったオートテニス場に集まる同世代の人達と作ったサークルで、初めこそテニススクールのコーチにボランティアで教えてもらっていましたが、基本はただ球を打って騒いで歌っている(?!)だけでハッピーな集団でした。その頃はアガシの絵入りＴシャツを着て、オープンスタンスで「アガ～シ！」なんて叫きながら打っていたと記憶しています。その後、結婚して引っ越し、そのサークルとも疎遠になり、職場の同僚と年に数回程度しかテニスをする事もなくなっていました。
ですので、Ｋ林さんに市民テに誘ってもらえた事は、とても幸運でした。
ちなみに、キャリアはそこそこ長いのですが、残念なことに私のテニスは自己流なので問答無用に下手っぴぃです。先日行われた夫婦ミックス大会でも、ボレーボレーは私のドロップショットであっという間に終わり、試合の方も初級スクールに入っている妻がネックになると思いきや、私の方がミスの連発で、結果もダントツの総合ビリでした。妻も敵は内にいると思った事でしょう。
こんな私ですが、明るく楽しく真剣にテニスに取り組んでいこうと思っていますので、家族共々よろしくお願いいたします。

****

現在東村山市には１３の町があります。それを市民テでは便宜上５つのクラブに分けて運営しています。それぞれの町について簡単なコメントが市のホームページに掲載されています。その一部をまとめてみました。名前の由来などがわかりますので一読下さい。

①萩山クラブ

萩山町：古くから親しまれてきた萩山の地名にふさわしく、この付近は、萩の花が武蔵野の秋を美しく彩ったと伝えられています。現在では、宅地化が進みその面影もわずかに残すだけとなりました。
恩多町：野火止用水が完成した後、「大沼田新田」として開拓が始まり、 江戸時代の終わりには大岱(おんた)村として江戸郊外の農

村として栄えていました。その後、市制施行と同時に「おんた」の音はそのまま残し、報恩感謝、 恩多き町として「恩多」と表記されるようになりました。江戸時代のかなり早い時期から、武蔵野原野であったこの地を潤してきた野火止用水は、現在、用水堀に沿って雑木の繁る緑道となって、市民生活に潤いをあたえています。 とりわけ、市の天然記念物に指定されている「万年橋の大ケヤキ」とともに、平成３年には、恩多野火止水車苑が完成しました。

②青葉クラブ

青葉町：所沢街道を境に久米川および南秋津に属していた地区です。昭和３９年の町名・字区域変更の際に武蔵野林の風情を豊かに残し、クヌギ、ナラ、松などが、青々と町を覆っていることから「青葉町」と名付けられました。その自然に恵まれた環境を活かして、国立療養所多磨全生園、 東京都多摩老人医療センター、東京都東村山老人ホームなどの、 豊かな住宅都市建設に欠かせない病院・療養施設が多く集まっています。

秋津町：奈良、平安時代に府中の国司として、都から来た秋津朝臣が、そのままこの地に住みついたことで、その名前から命名されたという説や、川沿いの低湿地のことを昔、「アクツ」とよび、柳瀬川沿いに低地があるこの地域を「あきつ」と呼ぶようになったという説などがあります。下沢遺跡などの古代住居跡群が示すように、すでに 縄文時代には人々が村落を形成し、この地で生活をしていました。

③栄クラブ

栄町：昭和３０年代、武蔵野の原野の姿をそのままに残していたこの地域も、ベッドタウンとしていっせいに開発が始まりました。新しい町は、ますます発展して栄える町になるようにとの願いをこめて「栄町」と名付けられました。八坂駅のすぐ近くには、新田義貞が鎌倉攻めのおり、道に迷って、その後、目印に桜を植えたという史跡「九道の辻」があります。いまも、複雑に入り組んだ交差点が現存しています。

富士見町：南の台地にあり、日本一の富士山の眺望よく、景観を楽しめることから「富士見町」となりました。自然環境に恵まれているこの地域には、文化センター、 高齢者等の福祉施設や、教育施設が集まっています。

④ 諏訪クラブ

諏訪町：久米川宿の西側にあった村で、久しく「西宿」といわれて いました。その氏神が諏訪神社で、住民からは「おすわ様」と呼ばれて親しまれていました。そうしたことから「諏訪」がそのまま町名となっています。

本町：昭和３９年、市制施行と同時に、市政の中心地であることから 「本町」と名付けられました。町名が示すように、東村山駅の東南に広がる本町には、 市役所をはじめ中央公民館、市民センター、中央図書館、警察署など、豊かで安全な市民生活に欠かせない公共施設が集まっています。

野口町：７世紀半ばから８世紀に府中に国府がおかれていました。 上野国と国府を結ぶ官道が通じて、人の往来も頻繁になったと思われます。上野国から国府をめざして狭山丘陵を越えると、最初に広がる平野がこの地域でした。野原の入口ということで、だれというなく「野の口」とくちずさんだのでしょう、その名称が野口町として受け継がれています。

久米川町：道興准后の「廻国雑記」（１４８６年）に、現在の柳瀬川を「くめくめ川」と呼んでいた記載があり、これが地名の由来のようです。鎌倉時代には、鎌倉街道の宿駅として、久米川宿は、軍事的にも経済的にも重要な役割を果たしてきました。

⑤ 美住クラブ

美住町：地図を広げてみるとわかるように、美住町区域は三角形にまとまっています。「三角（みすみ）」の音に、美しく住むという意味を合わせて、「美住町」となりました。豊かで衛生的な生活のために不可欠な水を提供してくれる東京都水道局東村山浄水場があります。浄水場で 処理された都民の飲み水が流れている上を、一直線に走っているのが多摩湖自転車道です。

多摩湖町：奈良・平安の時代には、人々が村落をつくり、生活していた多摩湖町は、以前は「宅部（やけべ）」という地名でした。東京の貯水池として大正５年に着工し、昭和２年に完成した村山貯水池を多摩湖とよび、この景勝地を背景としていることから、市制が施行された昭和３９年に「多摩湖町」と変更されました。

廻田町：道興准后の記した「廻国雑記」によると、廻田に古 から暮らしていた人々は、その居を狭山丘陵の山あいに定め、丘陵をとりかこむような形で開拓していきました。 そのため、隣村と行き来するためには、田から田を廻っていたそうです。そうしたことから、「廻っ田の先の村」 という言葉が生まれ、回田ともかかれたこの地域でしたが、現在は「廻田町」となっています。

編集後記　小桧山技術部長、西村さん、須田さん、ご協力どうもありがとうございました。私もスクールでは大変お世話になりました。これから徐々に暖かくなりますので、皆さんもテニスコートに足を運びましょう。　　萩山クラブ　松井 和則

久米川には多くの飲食店があり、西武新宿線の駅の中でも最も夜の人通りの多い町のひとつだと思っていましたが、宿場町として隆盛をきわめたと知って納得しました。東村山に来て２０年、まだまだ知らない事ばかりです。　萩山クラブ　古村 浩三

『ガット』関連のリクエスト・お問い合わせは　⇒　編集責任者　萩山クラブ　古村浩三 kkoldvillage@gmail.com まで